東京都江戸川区立

松江小学校視察報告書

日　時　平成26年3月28日
午後２時30分から４時30分

出席者　大久保教育長、上篠教育部長、川野新倉小学校校長
棚谷室長、長坂室長補佐、高野統括主査、川畑主任

学校建設準備室

東京都江戸川区立松江小学校

（所在地　東京都江戸川区松江一丁目16番5号）

歓迎のあいさつをする門田校長（上）と、視察のお礼を述べる大久保教育長（下）

松江小学校は、明治９年１０月「葛西学校」として開校し、その後、併合・分離を重ね昭和22年に現在の校名となり、創立138年の歴史と伝統のある学校です。

在校生は　580人、学級数は21学級、敷地面積は8,982㎡で、江戸川区内では、２，３番目に広い校庭を持つ学校ということです。

平成20年度に市民懇談会を設け、学校改築における小学校のあり方についての意見を基にした基本構想、基本計画を作成し、平成21、22年度に基本設計、実施設計、平成23年度着工、平成24年12月に改築工事が完成し、平成25年１月８日から、新校舎での授業が始まりました。

門田松江小学校長のあいさつの中で「今年３月24日に卒業した生徒は、１年生のときに計画が始まり、昨年11月に校庭が完成し、改築と共に過ごした子どもたちです。江戸川区内の築50年以上の改築を要する71校のうち、本校が第１号となり、改築事業に携わった方々の、日本一の学校を創っていこうとする意気込みはすごい。」とお話しをされました。

この後、高橋副校長をはじめ学校関係者の皆さんに、学校内を案内していただきました。

1階会議室前に置かれている模型

＜ 施設の概要 ＞

●構　　造　鉄筋コンクリート造
　　一部鉄骨造
●規　　模　地上4階
●敷地面積　8,982　㎡
●建築面積　3,746.59㎡
●延床面積　8,482.48㎡
●建築高さ　17.7m
●その他
　校庭　120mトラック×6コース
　　（直線50m×6コース）
　プール（4階）
　屋上緑化
　太陽光パネル

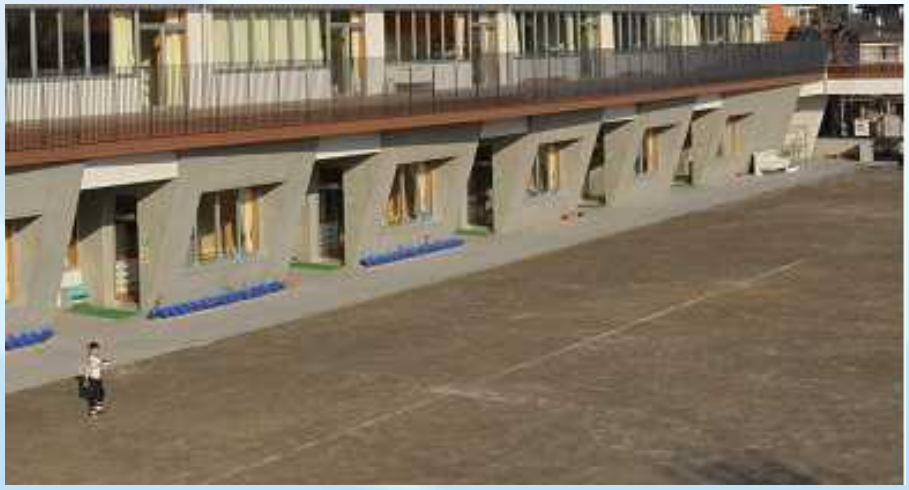
●生徒数　580名
●学級数　21学級
●開校　　明治9年10月5日
　　（開校138年）

１Ｆ

特徴的な低学年用昇降口

１階は低学年用のフロアーになっている。各教室に昇降口が付いていて、直接校庭に出られるようになっている。（上、左、左下） 2階テラスの下がひさしとなっているアプローチ（下）

直接校庭に出られる低学年用の昇降口



校庭側から見た低学年用の各昇降口。その上はテラスになっている。

テラスの下は高学年用の昇降口へのアプローチ

1 F

校舎中央に配置されたすくすくスクール

1階から3階まで吹き抜けになった中央フロアー

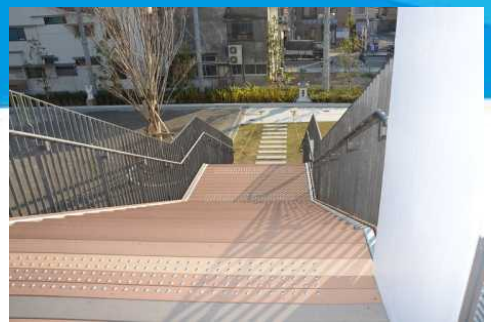
相談室と隣接した配置となっている保健室

伝統あるものを残したいという市民要望で残された二宮尊徳像

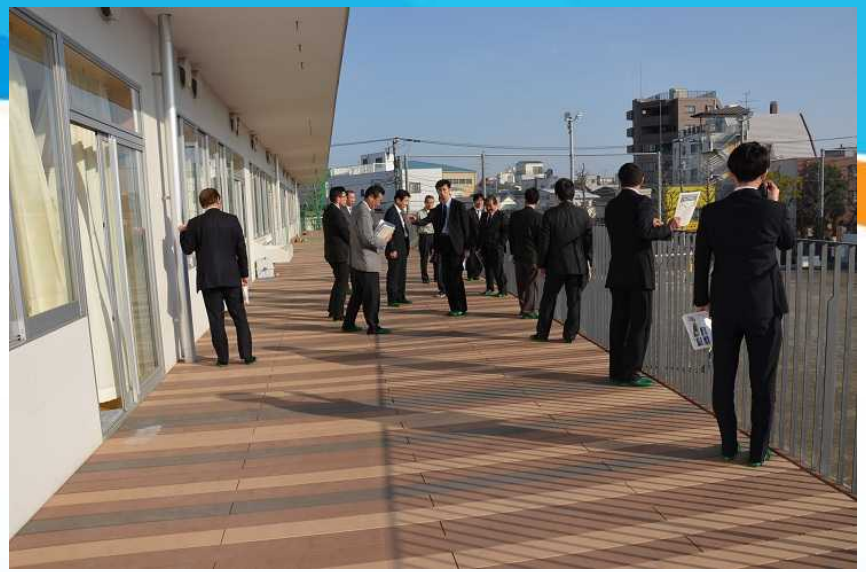
防犯カメラを出入口に計4台、職員室にモニターを設置してある職員室

わかば多目的室

２Ｆ



2階のデッキには外から直接登れる。



避難用としても、運動会の観覧席にも使える4m幅のテラス

高学年になるにつれ教室の間口が広がる。

多目的に使える2階のテラス

パソコン室と図書室が隣り合わせ

江戸川区では、体育館は2階以上に設置が決められている。災害時には避難所として使えるよう備蓄倉庫も備えている。

２Ｆ

入口が全面開放できる図書室

閲覧室も入口が全面開放できる。

多摩地域の木材を多用した特別教室（まつっぴルーム）

３Ｆ

音楽室に隣接する楽器庫

音楽室には姉妹市の山形県鶴岡市産の杉材を使用

先生の机の周りに集まれるようスペースを設けた理科室

全校的に取り入れた伸縮式の机と椅子。右は旧来の学童用机

３Ｆ

高学年用教室は大きなスライド式の可動間仕切りとなっている。

教室側から見たスライド式の可動間仕切り

４Ｆ

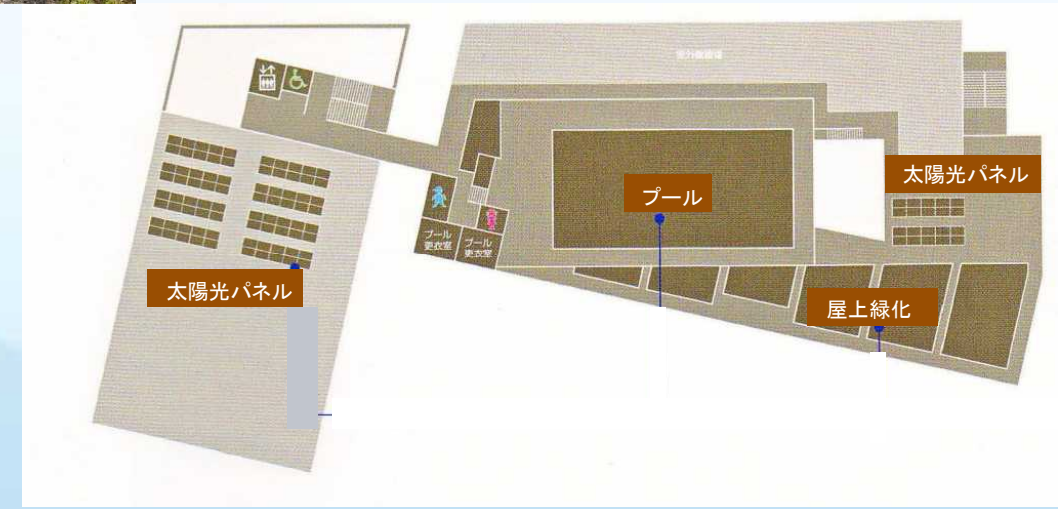
屋上にはプールと

太陽光パネルを設置

教室棟4階に設置されたプールは25m×6コース
災害時にはマンホールトイレや消火栓に水を供給する。
屋根付の入間川小学校のプールと比較して水の緑濁が気になった。

夏は金属部分が非常に熱くなると説明する高橋副校長

教室棟の屋上緑化

パネルはこの外に体育館屋上にも設置されていて、体育館の外部用電源等に活用されている。

ナビモニターで現在の発電量が見えるようになっている。（1階に設置）